

消防活動に捧げた半世紀



はじめ 佐々木 元さん

豊間根の佐々木元さん(75)が、瑞宝単光章を受章しました。「皆さんのおかげでいた、だくことができました」と感謝を伝えます。佐々木さんが消防団に入団したのは、昭和42年のこと。以来、平成30年に退団するまで半世紀にわたり、消防活動に従事してきました。平成7年に11分団長、26年には消防団長を務め、その温厚で誠実な人柄で、消防関係者から慕われています。平成26年5月に荒川

地区で発生した林野火災の際は、団長として現場に出動し、全分団へ出動を命令。延焼拡大のため、昼夜を問わず活動し、団員を統率しました。また、後進の育成にも尽力し、分団長時代には、若い団員向けに勉強会を企画し、災害現場で適切な行動をとれるように指導してきました。半世紀にもわたる消防団活動には、奥様の協力も大きかったという佐々木さん。演習の際の炊事や出張の際の運転など、心身ともに支えられたといいます。「消防十訓である、団結・規律・使命・信頼・友情・勇気・誇り・情熱・奉仕・郷土愛。これらを忘れないで欲しい」。後進への思いを語りました。

「地域を守る」を第一に

荒川の佐藤久夫さん(79)が、瑞宝単光章を受賞しました。「叙勲をいただきまして申し訳ない気持ちです」と、謙遜します。

佐藤さんは、昭和35年に第13分団へ入団。平成10年に退団するまで約38年間に渡り、地域を守ってきました。

林野組合の組合長でもある佐藤さん。管轄していた荒川地区も広大な山林に囲まれていることから、消防水利の必要性を訴え、町との調整を図って適地を選定。土地地権者への

誠意ある説明にも努め、防火水槽の設置に貢献しました。

また、分団長として後進の育成にも尽力。消防団の活性化を常に考えていたと言います。そして「一番重要なことは、何が何でも地域を守ること」と語った佐藤さん。自分たちが地域を守るといふ責任感を強く持ち、活動を展開してきました。現在の消防団について何うと「かつては30人だった13分団員が、現在19人。進歩した時代だが、消防団では人海戦術がやはり必要」と、団員確保の必要性を訴えました。

後進へは「優秀な人が多い。先頭に立って頑張ってもらいたい」とエールを送りました。



ひさ お 佐藤 久夫さん

全国行政相談委員連合協議会長表彰 相談委員の瀬川さんが受賞

本町の行政相談委員の瀬川三枝子さん(後楽町・72)が、5月21日に全国行政相談委員連合協議会長表彰を受賞しました。平成21年から現在まで行政相談委員として活躍してこられたことが評価され、今回の受賞となりました。瀬川さんは「相談者の話をじっくり何うことを意識してきた。今後もパイプ役に徹し、委員を務めていきたい」と語りました。

岩手県警察本部長から表彰状 交通死亡事故ゼロ3年に

5月25日、本町における交通死亡事故が3年間無かったことに対し、岩手県警察本部長から表彰状が贈られました。町役場4階の町長室で行われた伝達式。佐藤町長はあいさつの中で「多くの皆さんのおかげで達成できたもの。1日1日の積み重ねが重要であり、心にシートベルトを付けて今後も継続していきたい」と、交通安全のさらなる推進を誓いました。